

令和3年度 学校経営方針

旭川市立北門中学校

1 校訓

誇りと責任 (平成12年3月制定)

【制定の趣旨】

「明るい挨拶が交わされ、清掃の行き届いた美しい校舎を、そこに住むすべての生徒、教職員の心として、誇り高い公正さと、遵法精神を大切に、社会の一員として立派に責任を遂行できる人間となるようにとの願いが込められている」

2 学校教育目標

豊かな人間性を育て、輝かしい未来を築く、たくましい生徒の育成

◎開拓精神をもって、真理の探究に努めよう

- ・ 困難と闘い、困難を乗り越えて自己実現を図る
- ・ 人生の目標を確立し、一步一步着実に真理を探究する

◎心身共に健康で、個性豊かな人間になろう

- ・ 健康に留意し、運動によって強い心身を鍛える
- ・ 自己の長所を伸張し、豊かな独自性のある自己を開発する

◎友愛の心をもって、よりよい社会をつくろう

- ・ 友人や世の中の人々に思いやりの心をもつ
- ・ 明るく正しい心をもって、住みやすい社会をつくる

◎人間としての誇りをもって、責任ある行動をとろう

- ・ 人間としての喜びや誇りをもつ
- ・ 深く考えて誘惑にうちかち、正しい行いをする

3 経営の基調

グローバル化の進展や絶え間ない技術革新などにより、雇用環境や社会構造は急速に変化しており、将来の予測が難しい時代を迎えている。このような時代に生きる子どもたちには、自分のよさや可能性を認識し、多様な人々と協働して社会的変化を乗り越える力、豊かな人生を拓き、持続可能な社会を創造する力が求められている。

このような社会の変化に対して、身につけた基盤的な学力や情報活用能力を、他と協働しながら人間らしい感性をもって発揮・活用することができるよう、「社会を生き抜く力」をすべての子どもたちに育成することが義務教育の使命である。

本校では、次代に求められる資質・能力を明らかにし、子どもたちに確実に身につけさせるとともに、教職員の総力を結集した教育実践を通して、子どもの確かな変容を保証し、保護者、地域から信頼される学校づくりを推進する。

そのために、家庭や地域社会と連携・協働する中で、「社会に開かれた教育課程」を編成すると共に、コミュニティスクールの導入による小学校教育とのなめらかな接続、連続性を確保し、地域で育てたい子どもの姿の共有を図る。

また、「チーム学校」に向けた学校のマネジメント機能充実のために、以下の2項目を推進する。

- ①教育活動，校内組織，諸会議等の見直し，改善，効率化，活性化
- ②子ども支援，保護者支援に関わる情報の共有化とコーディネートの推進

4 小中9年間で育てたい子どもの姿

「自ら学ぶ意欲を身に付けた生徒」

- ・学校評価，教職員アンケート，保護者アンケート，校区内小学校の学校経営方針，地域の声などから。

5 めざす学校像

「地域に根ざした活力ある学校」

①本校のめざす具体的な学校像

- 地域社会のニーズと身に付けさせたい資質・能力が共有されている学校
- 地域が生徒の活躍の場となる学校
- 地域の方々に見守られながら生徒や教師が成長する学校

② 本校のめざす生徒像

- 自ら学び，考え，計画を練り上げ行動する生徒
- 相手の立場で物事を考え，他者と協働し，課題解決する生徒
- 自他の生命を尊重し心身共に健康に生活しようとする生徒

③ 本校のめざす教師像

- 人間的な魅力に溢れ，理解と共感を基に生徒の成長を促す教師
- 新たな学校課題を的確に捉え，自らを高め学び続ける教師
- 広く連携協力し，同僚性・協働性を活かして行動する教師

6 重点的に育成する資質・能力

○「情報活用能力」

世の中の様々な事象を情報とその結び付きとして捉え，情報及び情報技術を適切かつ効果的に活用して，問題を発見・解決したり自分の考えを形成したりしていくために必要な資質・能力

7 年度の重点目標

学ぶ意義を理解し，主体的に学ぶ生徒の育成

自らを「今の自分」から「よりよい自分」へ

- 1 「何故学ぶのか（意義）」と「それを達成できるか（目標）」
- 2 自分の学びや生活を見つめる
- 3 「北門だから…」をプラスの意味で

8 学校経営の重点（下線は今年度の重点）

（1）チームとして学校力の向上を図る校務運営

- ①協働体制の確立と機動的な組織運営の推進
- ②学校改善に生かす学校評価の工夫や、短期スパンでの目標の進行管理
- ③業務改善や超過勤務縮減に向けた意識改革とタイム・マネジメントの推進

（2）コミュニティスクールを基盤とした開かれた学校づくりの推進

- ①保護者、地域との日常的な連携・協働の充実と積極的な情報発信
- ②学校運営協議会などの外部評価を生かした学校改善の推進
- ③小中連携によるなめらかな接続の推進

（3）学習指導要領の趣旨を生かし編成・実施する教育課程

- ①地域の教育資源を生かす社会に開かれた教育課程の編成・実施
- ②教科横断的視点で、自主性、協力性、表現力を高める教育課程の編成・実施
- ③教育目標の実現を図る検証・改善サイクルの確立

（4）生徒個々のよさを生かし伸ばす確かな学年・学級経営

- ①生徒が存在感・所属感をもつことができる学年・学級経営の推進
- ②個が育ち、互いに認め合い、高め合う学年・学級集団の育成
- ③基本的な生活習慣や規範意識の定着

（5）未然防止と確実な初期対応を図る危機管理

- ①「危機管理マニュアル」に基づく安全管理、安全指導の充実
- ②「報告・連絡・相談・記録」の徹底
- ③危機管理における組織的な対応の徹底

（6）常に更新し、専門職としての教師力の向上を図る研修

- ①キャリアステージに応じ、常に知識・技能を更新する研修の推進
- ②コンプライアンスの強化を図る研修の推進
- ③研修機会の保証と研修成果の交流の推進

（7）安心・安全で心豊かに学ぶことができる教育環境

- ①ユニバーサルデザインの考えに基づく教育環境の構成
- ②ICT 機器、学校図書等の活用、計画的な整備・充実の推進
- ③校舎内外の日常的な美化活動の推進

（8）学校予算の効率的な運用を図る学校事務

- ①選択と集中による学校予算の効率的な運用
- ②コスト意識を高める業務の工夫改善
- ③諸帳簿、および文書管理の徹底

9 教育指導の重点（下線は今年度の重点）

（1）確かな学びの成果を保証する学習指導

- ①基盤的な学力の確実な定着を図る指導の充実
- ②育成すべき能力を明確にした指導の充実
- ③「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業の確立

（2）生徒の実態を捉え、基盤となる道徳性を養う道徳教育

- ①教育活動全体で行う豊かな心を育む道徳教育の充実
- ②考え、議論する道徳の実践に向けた指導計画、指導方法の工夫・改善
- ③家庭や地域との連携を図った道徳的実践力を高める指導の充実

（3）個と集団を高め、自主性を育てる特別活動

- ①自主的・主体的な実践を促す生徒会活動、行事等の計画・推進
- ②意見の違いや多様性を認め、高め合う集団づくり
- ③活動のねらいを明確にした指導、指導過程の充実

（4）探究的な見方・考え方を育てる総合的な学習の時間

- ①育てたい資質・能力を明確にした指導計画の工夫
- ②地域の資源を生かした特色ある単元開発の推進
- ③今日的課題を捉えた指導の充実

（5）よりよい生き方を目指すキャリア教育

- ①キャリア発達に応じた指導の充実と指導体制の確立
- ②進路の目的や意義を考えさせるガイダンス機能の充実
- ③キャリアパスポートを活用した授業実践と社会で生きる力の育成

（6）自己指導能力を育成する生徒指導

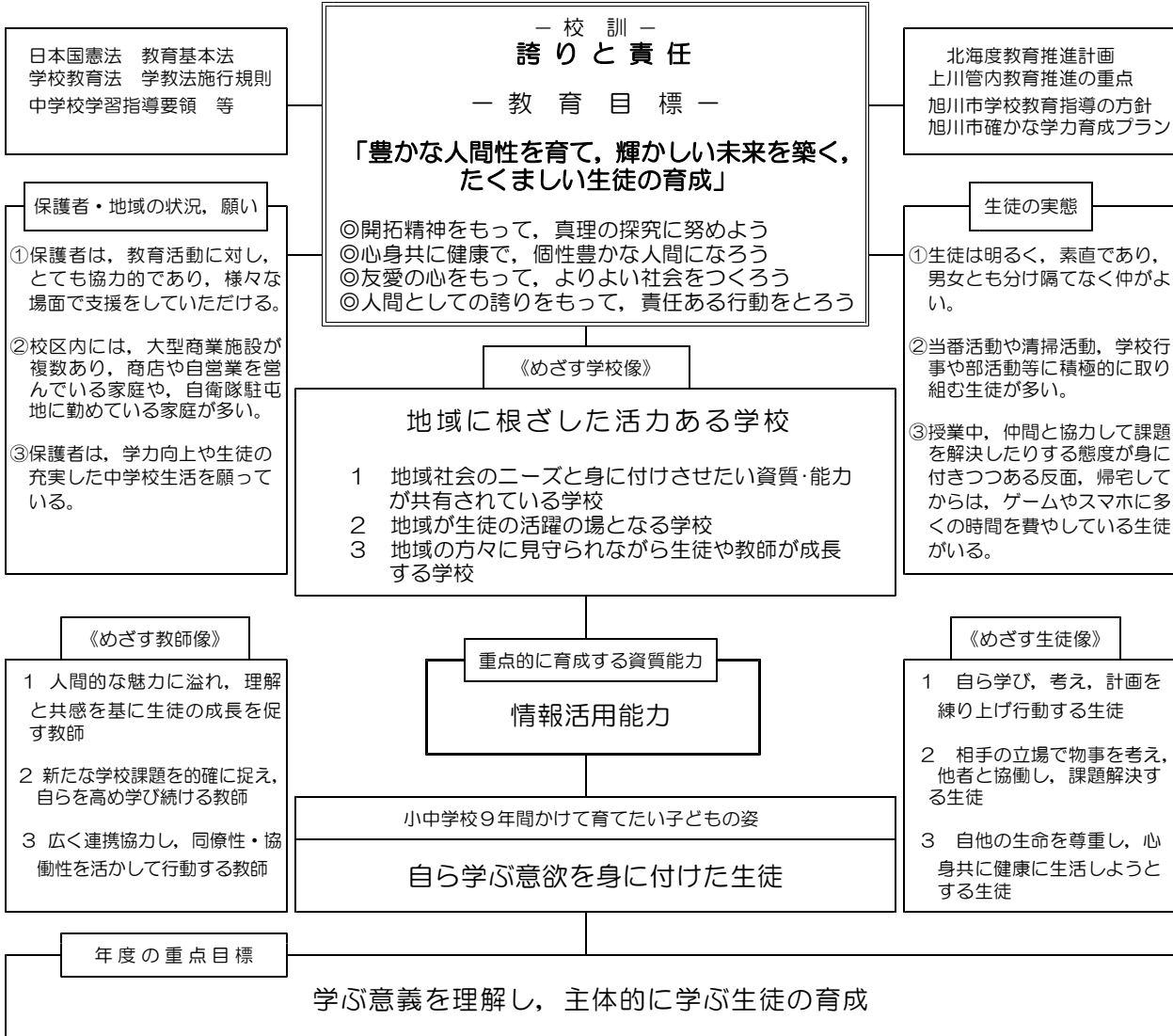
- ①教職員の共通理解、共通行動による隙間のない指導体制の確立
- ②共感的理解に基づく個に応じた指導の充実
- ③「生徒指導の機能(自己存在感・自己決定の場)」を生かした教育活動の推進

（7）心身の健やかな成長を促す健康・安全指導

- ①事故や災害等に対する危機回避能力の育成
- ②自らの健康や体力を維持・向上させる意識を高める指導の充実
- ③食育の観点からの望ましい食習慣の定着

（8）一人一人の教育的ニーズに対応する特別支援教育

- ①コーディネーターや校内委員会、ケース会議の機能の充実
- ②個々の状態に応じた個別の指導計画や支援計画の作成・整備
- ③支援が必要な生徒への合理的配慮に基づいた指導の充実



学校運営の重点	下線は今年度の重点
<p>1 チームとして学校力の向上を図る校務運営</p> <p>①協働体制の確立と機動的な組織運営の推進</p> <p>②学校改善に生かす学校評価の工夫や、短期スパンでの目標の進行管理</p> <p>③業務改善や超過勤務縮減に向けた意識改革とタイム・マネジメントの推進</p> <p>(2) コミュニティスクールを基盤とした開かれた学校づくりの推進</p> <p>①保護者、地域との日常的な連携・協働の充実と積極的な情報発信</p> <p>②学校運営協議会などの外部評価を生かした学校改善の推進</p> <p>③小中連携によるなめらかな接続の推進</p> <p>3 学習指導要領の趣旨を生かし編成・実施する教育課程</p> <p>①地域の教育資源を生かす社会に開かれた教育課程の編成・実施</p> <p>②教科横断的視点で、自主性、協働性、表現力を高める教育課程の編成・実施</p> <p>③教育目標の実現を図る検証・改善サイクルの確立</p> <p>4 生徒個々のよさを生かし伸ばす確かな学年・学級経営</p> <p>①生徒が存在感・所属感をもつことができる学年・学級経営の推進</p> <p>②個が育ち、互いに認め合い、高め合う学年・学級集団の育成</p> <p>③基本的な生活習慣や規範意識の定着</p> <p>5 未然防止と確実な初期対応を図る危機管理</p> <p>①「危機管理マニュアル」に基づく安全管理、安全指導の充実</p> <p>②「報告・連絡・相談・記録」の徹底</p> <p>③危機管理における組織的な対応の徹底</p> <p>6 常に更新し、専門職としての教師力の向上を図る研修</p> <p>①キャリアステージに応じ、常に知識・技能を更新する研修の推進</p> <p>②コンプライアンスの強化を図る研修の推進</p> <p>③研修機会の保証と研修成果の交流の推進</p> <p>7 安心・安全で心豊かに学ぶことができる教育環境</p> <p>①ユニバーサルデザインの考えに基づく教育環境の構成</p> <p>②ICT機器、学校図書等の活用、計画的な整備・充実の推進</p> <p>③校舎内外の日常的な美化活動の推進</p> <p>8 学校予算の効率的な運用を図る学校事務</p> <p>①選択と集中による学校予算の効率的な運用</p> <p>②コスト意識を高める業務の工夫改善</p> <p>③諸帳簿、および文書管理の徹底</p>	

教育指導の重点	下線は今年度の重点
<p>1 確かな学びの性を保証する学習指導</p> <p>①基盤的な学力の確実な定着を図る指導の充実</p> <p>②育成すべき能力を明確にした指導の充実</p> <p>③「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業の確立</p> <p>2 生徒の実態を捉え、基盤となる道徳性を養う道徳教育</p> <p>①教育活動全体で行う豊かな心を育む道徳教育の充実</p> <p>②考え、議論する道徳の実践に向けた指導計画、指導方法の工夫・改善</p> <p>③家庭や地域との連携を図った道徳の実践力を高める指導の充実</p> <p>3 個と集団を高め、自主性を育てる特別活動</p> <p>①自主的・主体的な実践を促す生徒会活動、行事等の計画・推進</p> <p>②意見の違いや多様性を認め、高め合う集団づくり</p> <p>③活動のねらいを明確にした指導、指導過程の充実</p> <p>4 探究的な見方・考え方を育てる総合的な学習の時間</p> <p>①育てたい資質・能力を明確にした指導計画の工夫</p> <p>②地域の資源を生かした特色ある単元開発の推進</p> <p>③今日的課題を捉えた指導の充実</p> <p>5 よりよい生き方を目指すキャリア教育</p> <p>①キャリア発達に応じた指導の充実と指導体制の確立</p> <p>②進路の目的や意義を考えさせるガイダンス機能の充実</p> <p>③キャリアパスポートを活用した授業実践と社会で生きる力の育成</p> <p>6 自己指導能力を育成する生徒指導</p> <p>①教職員の共通理解、共通行動による隙間のない指導体制の確立</p> <p>②共通理解に基づく個に応じた指導の充実</p> <p>③「生徒指導の機能(自己存在感・自己決定の場)」を生かした教育活動の推進</p> <p>7 心身の健やかな成長を促す健康・安全指導</p> <p>①事故や災害等に対する危機回避能力の育成</p> <p>②自らの健康や体力を維持・向上させる意識を高める指導の充実</p> <p>③食育の観点からの望ましい食習慣の定着</p> <p>8 一人一人の教育的ニーズに対応する特別支援教育</p> <p>①コーディネーターや校内委員会、ケース会議の機能の充実</p> <p>②個々の状態に応じた個別の指導計画や支援計画の作成・整備</p> <p>③支援が必要な生徒への合理的配慮に基づいた指導の充実</p>	